



コミスク通信 in 椿東小

あねえなこと こねえなこと

平成31年3月

ウグイスが鳴き始め、桜のつぼみも丸みをおびてきました。今年度も、あとわずかとなり、それぞれの学年で総仕上げ、来年度への準備段階に入っています。

とりわけ6年生は、卒業を前に、6年間の思い出をかみしめているようです。卒業式では、下級生に伝えたいこと、お世話になった先生方や地域の方々への感謝の気持ちを形にして表してくれることでしょう。成長した姿を、地域のみなさまにもご覧いただきたいと思います。



＝学校運営協議会の役割を改めて確認＝

2月27日(水)今年度最後の学校運営協議会を開催しました。開会に先立って、萩市地域連携教育アドバイザーの蒲先生より、学校運営協議会の果たすべき役割についてご指導いただきました。



* 熟議で決まった“やること”を先送りしない！

熟議を行ったあと報告をしてそのままになっていることもあるし、プロジェクトの中でもんでおかなくてはならないことがそのままになって、次の会でまたどうしようかということになってしまっている。つまり、先送り、先送りになってしまうことがある。では、誰がいつどのように取り組んでいくのかということをしかりと決めて取り組んでいくことが大切。

* 特色ある学校づくり（コアスクール構想）に結びつけた取組を！

保護者、地域の方の参画を得て、特色ある学校づくりに取り組んでいくことが大きな使命。コアスクール構想「松下村塾の志を柱としたキャリア教育の拠点」どんな学校づくりをしていくか話し合い、具体的な取組としてプロジェクトでどのようにやっていくか、そのように結びつけていく必要がある。

* 子どもをメインにした話し合いを！

子どもの今の実態を評価したうえで、どんな取組をしていくか。メインは子どもの姿。今の子どもたちにつけたい力は何なのか、その力をつけさせるためにどんな取組をしていくのか。そういう話し合いが必要になってくる。

＝こねえなこと・つぶやき＝

体育館前の松の木を、すっきりと剪定していただきました。毎年、この時期になるとご近所にお住まいのかたがボランティアでやってくださっています。金木犀やネズミモチもさっぱりし、卒業式を迎える子どもたちを祝福してくれているようです。椿東小は、こんな方々のご厚意によって支えられています。

*** 第127回卒業証書授与式**
3月20日(水)9:30～

*** 平成31年度入学式**
4月8日(月)10:30～

地域でも子どもたちをあたたかく見守って
やってください！





新年度へ向けて！

～コミスクの質の向上をめざして～

今年度最後の学校運営協議会では、学校評価の内容について検討しました。この評価をもとに来年度、改善に取り組む検討課題としていきます。

知



「姿勢コンテスト」の評価項目に、単なる外見の姿勢のみならず「学習に取り組む姿勢」という視点を追加して評価を実施。その成果は、①2分前着席、1分前黙想を通して、落ち着いた雰囲気での学習を開始することができるようになった。②一人学び、2人組や小グループでの話し合いができるようになり、意見の交換によって互いに高まり合う姿が見られるようになった。③校内研修で道徳の授業実践を続けた結果、友達の意見を聞くことにより、自分の考えや価値観を深めることができるようになった。一方で、全体での発表の中では、話し合いが深まりにくいことが課題。鉛筆や箸の持ち方、家庭学習、忘れ物をしないためのチェック、メディアとの付き合い方など、家庭との連携を強化。

徳



「徳」の部員を中心とした「大人」と、6年生の「児童」との熟議を実施。子どもたちに、「学校よさと課題」について投げかけたところ、「美化」、「あいさつ」、「地域との交流」について目を向けて、話し合いが進んだ。その結果をもとに、「大人」との意見交流を行い、大人と子どもの思いの相違点が明らかになった。今後は、視点を学校から社会へ、また家庭へと向けていくことにより、よりよい地域社会づくりへとつなげる形にしていきたい。

体



「スポーツ教室」が軌道に乗り、実施回数、参加者数が増加した。経験者が初心者に優しく教える姿が見られるなど、日常的に運動に取り組んでみようとする児童を増加させることに効果があった。体幹トレーニングについては、学校での実施が軌道に乗ってきているため、家族でも取り組めるように、家庭への呼びかけをするような工夫が必要である。



体 → 食

これまでの取組をとおして、ほとんどの児童が朝食を毎日食べるという結果が得られた。一方で、野菜を毎日欠かさず食べている児童は少ないことも分かった。この結果をもとに、給食のメニュー紹介や、椿東ふれあいフェスタでの「食育の話」などをとおして、保護者や児童に向けて給食や食についての取組を推進することができた。野菜の摂取量を増加させるために、「給食だより」で定期的に保護者へ知らせるとともに、クッキング教室や給食メニュー紹介等をとおして、啓発活動を継続していく。

環

花生けの活動が定着し、子どもたちが、野の花を摘んで教室に飾るなど、美しい環境への取組につながった。「プロによるお掃除指導」の成果が徐々に現れてきている。2年に1度は「プロによるお掃除指導」を実施し、「まごころを込めた掃除」ができるように、「道具を大切に使う心」をもち、「誰のためにそうじをするのか」を意識させる取組を展開していく。また、花壇の利用計画を、実態に合わせたものに再編成し、環境美化についての推進を図る。

総



「校内の分掌部会」、「プロジェクト部会」、「学校運営協議会」の三者の連携に併せて、PTA組織との連携が強化されている。今後も、「望ましい児童像」を全員で共有しながら、学校課題の改善に向けた取組を推進するとともに、5W1Hを意識し、特に、いつ、誰が、どのように行うのかを明確にして、児童や教職員の過重な負担にならないよう、配慮を行いたい。業務の大幅な削減を行う視点で、年間計画を立案するなど、業務改善に努めたい。